

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
TEL093-331-6395(交通部安全対策課)

第196号 令和5年7月号

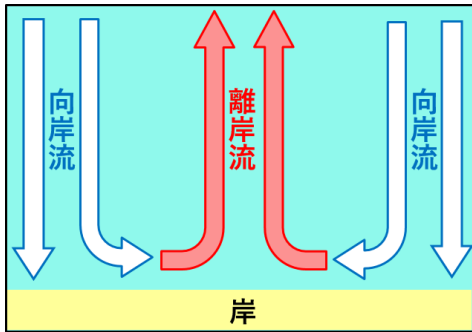


BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

恐怖の離岸流

7月17日 福岡県糸島市の海岸で多数沖に流される



離岸流とは

- ・岸から沖へ向かって流れる海水の流れのこと。
- ・流れの速さは毎秒2メートルで、オリンピック選手と同じくらい。
- ・長さは数十メートルから数百メートル、幅は10～30メートル。
- ・どこにでも発生する可能性がある。

離岸流に流された時の対処法

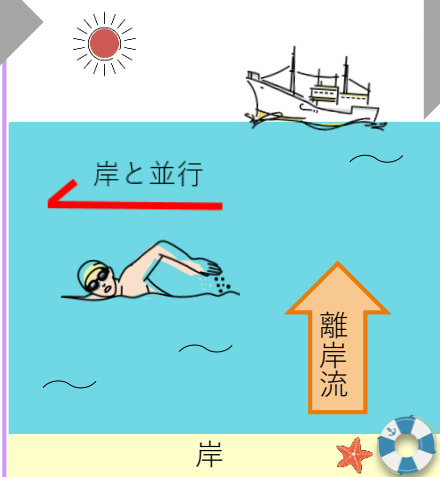
STEP 1

自分が流されていることに気付いたら、**大声**を出したり、**手を大きく振って**周囲の人に助けを求めましょう！



STEP 2

慌てず、**岸と並行**に泳ぎ、離岸流から抜け出しましょう！
流れに逆らって泳ぐのは困難です。



STEP 3

離岸流から抜け出せたら、ゆっくりと**岸に向かって**泳いで戻ってきましょう！
沖へ向かう流れを感じなくなったら抜け出せた合図。



もし流されている人を発見したら

付近の**監視員等**に助けを求めましょう！自分で泳いで助けに行く行為は非常に**危険**です。

海水浴で注意すること

01. 海水浴場の選び方

監視員等がいる管理された海水浴場へ行きましょう！

遊泳区域が指定されている海水浴場は、水上オートバイやSUPと接触する危険ありません。

02. 子供から目を離さない

子供の動きは予測不可能！
大人は子供の動きに特に注意しましょう。

「子供だけで海へ遊びに行かない」
ことを教えておくこともGOOD！

03. ライフジャケット

子供と海へ行く場合、
ライフジャケットを着用させると
安心！

体に合ったサイズを選びましょう。

04. 沖へ行かない

沖へ流された浮き輪やフロート等
を取りに行くのは危険！

浮き輪と命どちらが大切ですか？

事故事例

令和4年7月24日、大人1名、子供5名の計6名は、海水浴を行うため福岡県内の海水浴場を訪れた。子供達は浮き輪の投げ渡しをして遊んでいたところ、浮き輪が流されたため、13歳の事故者が回収に向かったものの沖合に100メートル程度流されてしまい、陸に帰ることができなくなりました。

浜辺に常駐していたライフセーバーが助けを求める声を聞きつけて、水上オートバイで事故者を救助した。事故者は溺水による脱水症状があったものの、命に別状はありませんでした。

